

本棚 ぶらり

テーマ 神社



『御朱印でめぐる埼玉の神社 ～週末開運さんぽ～』



ちぎゅう ある かた へんしゅうしつ
『地球の歩き方』編集室／著
ダイヤモンド・ビッグ社 2019年

御朱印をいただくには？御朱印めぐりのマナーとは？

御朱印めぐりを始めたいけれど、疑問や不安がある…そんな方にお勧めできるのが本書です。埼玉県で御朱印をいただくことができる神社がエリア別、御利益別に紹介されており、ニーズに合わせて調べることができます。また、どのような御朱印がいただけるのか写真付きで紹介されているので、こだわりたい方の御朱印めぐりにも役立ちます。さいたま市内の神社も紹介されていて、境内の摂社・末社(小さな祠)を含め、たくさんの神様をまわることができます。日帰りのモデルプランや「プチ鉄道巡礼」も紹介されています。

神社の見どころに関する口コミや御朱印だけでなく、お守りや絵馬などの情報も掲載されており、御朱印めぐりを始めるのにぴったりな1冊です。

『日本人のための神道入門』



たけみつまこと
武光誠／共著 グレイル／共著
宝島社 2007年

「神道」という言葉を耳にしたことはありますか？

「神道」では、「八百万」といわれるほど多くの神がいて、人々の願いを叶えてくれると考えられています。

実は日常生活の中にも、神道が由来となっている行事等が多々あります。例えばお正月です。古くは、正月は先祖の霊魂を迎える祭りだったそうです。当初は、先祖の霊は豊作をもたらす「歳神」と呼ばれていました。そして、元日に年が変わることから「年神」と呼ばれるようになり、現在の新年を祝う意味合いが強くなりました。

また、高度経済成長期にテレビや車、クーラーは「三種の神器」と呼ばれていました。この「三種の神器」も、本来は神話上の宝物を指す言葉です。

本書では、神道の考え方、神話の流れなどが、図を用いてわかりやすく紹介されています。本書を読むことで、日常に根付いた神道を身近に感じてみてはいかがでしょうか。

『イラストでよくわかる 日本の神様図鑑』

ふるかわのぶひろ
古川順弘／テキスト
カワグチニラコ／イラスト
青幻舎 2017年



お寺には仏像があるのに、なんで神社には神像がないの？こんな疑問を抱いたことはないでしょうか。仏像と違って、日本の神々には細かい造形の基準が原則としてありません。しかし神々には、語り伝えられてきた神話・伝説にもとづき固有のキャラクターがあります。本書では、神話や伝説の場面を織り交ぜながら、「古事記」、「日本書紀」などの神話世界の「天つ神」と「国つ神」、民間で篤く信仰されてきた人気の神様、周囲のものを何でも神格化したために生まれた不思議な神様など、100を超える日本の神様たちを、楽しくわかりやすいイラストと簡潔なテキストで紹介しています。神様の個性や性格のほか、ご利益や祀られている神社も掲載しており、神社めぐりにも最適な神様ガイド図鑑です。

『日本全国神仏修行入門』

あさくらかずよし
朝倉一善／著
講談社 2008年



本書は、父の死をきっかけに神仏の智慧、とくに修行の知恵に興味を持った筆者が、関東地方を中心に17の寺社を選び、身近なお寺や神社でできる修行をリアルに紹介している体験記です。修行と一言で表していますが、誰でも自由に参加できる30分間の読誦会(読経を読む会)や、浄心行(瞑想と唱題行)、護摩修行、写仏・写経の会、お百度参りといった一時間前後で経験できるものから、一泊二日から最長一週間の泊まり込みで、坐禅、水行、断食、火渡りなどを行う本格的なものまで、様々な修行を紹介しています。他の修行体験者の経験談も豊富に載っており、修行が身近に感じられます。筆者は、修行は日常をはなれてひととき静寂な時間をもつことで、ストレス社会を生きる現代の読者にとって、最も合理的な自己回復の法であると語っています。まずは自分に合ったものを探して、体験してみたいでしょうか。



ちょこっとゆかり文学クイズ

Q: 松本清張「神々の乱心」にはさいたま市の神社が登場します。どこの神社でしょう？